

市民編集委員を紹介します

今年度のニュースレターづくりに協力していただく、市民編集委員5名の皆さんをご紹介します。それぞれの視点や思いを生かしながら、より親しみやすく役に立つ情報発信をめざします。



笹澤 嘉子編集委員

男女共同参画やジェンダー平等推進に関心があり、少しずつ学びを深めています。編集委員は2年目になります。皆様に新たな気付きを届け、考えるきっかけとなるような記事を書いていきたいと思っています。



住谷 智香編集委員

身近な話題として読んでもらえるような記事を取り上げたいと思っています。編集委員として、男女共同参画とは？と、皆さんと一緒に考えるきっかけを届けられたらうれしいです。



山口 智子編集委員

男女共同参画は、私たちの毎日の暮らしの中にあるもの。身近なテーマを通して「自分にも関係がある」と感じてもらえるよう、市民の声と男女共同参画をつなぐ編集委員でありたいと思います。

新潟出身ですが縁あって群馬で暮らし始め、気付けば約10年。今ではすっかり群馬での暮らしにも馴染みました。人と話すことが好きなので、今回の編集委員を通して前橋の新しい一面にも出会えたらと思います。



佐久間 敬大編集委員



田畑 葉子編集委員

今年度初めて、新樹の編集に携わらせていただくことになりました。「共同参画が実現された社会」ってどんな姿だろう？取材を通じて皆さんと一緒に探っていければ、と思っています。

＊よろしくお願いします＊

前橋市からの お知らせ

男女共同参画セミナーを実施しました

「色のメガネで世界を見ていませんか？」
～ピンクと青から考えるジェンダーの思い込み～

令和8年6月27日(土)に男女共同参画セミナーを開催し、今回は、社会心理学とジェンダーについて研究されている、東京家政大学准教授の石井国雄さんにご講演いただきました。

「ピンクは女の子、青は男の子というイメージはどうして生まれたのか」という歴史的な背景から、「何歳ころから自分の好きな色を意識するようになるのか」などについてお話しされ、「性別に縛られることなく好きな色を使える社会になってほしい」と、固定観念にとらわれない社会の大切さについて考える機会となりました。「この色は男の子」「この色は女の子」といった思い込みに気付くことが、男女共同参画への理解を深めることにつながると感じました。



石井国雄さん

市民のみなさんはどう考えている？

令和7年度男女共同参画に関する

市民意識調査結果

前橋市では、男女共同参画に関する課題や市民のみなさんの意識、行政へのニーズを把握し、今後の施策に生かすため、令和7年9月に男女共同参画に関する市民意識調査を実施しました。
その調査結果の一部をご紹介します。



対象

・ 大人

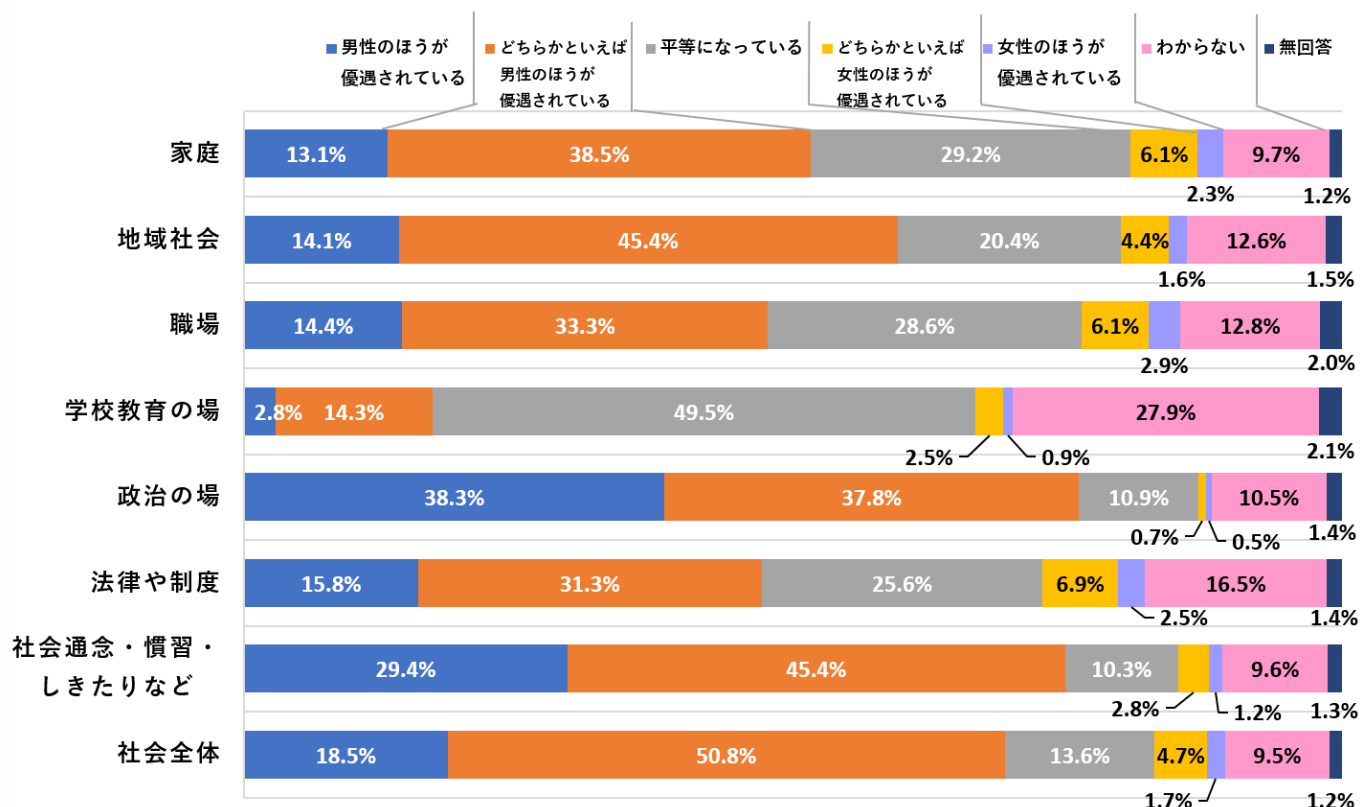
無作為に抽出した市内在住の
満18歳以上の男女3,000人

・ 小学生・中学生・若者

- ・ 小学5年生
- ・ 中学2年生、
- ・ 高校2年生、大学生
- ・ 専門学校生



Q1 今の生活や社会の状況は男女平等になっていますか？



「学校教育の場」では、約半数の人が『平等になっている』と回答しました。「法律や制度」において『女性のほうが優遇されている』が最多となった一方、その他の場面では『男性のほうが優遇されている』と感じている人が多い結果となりました。



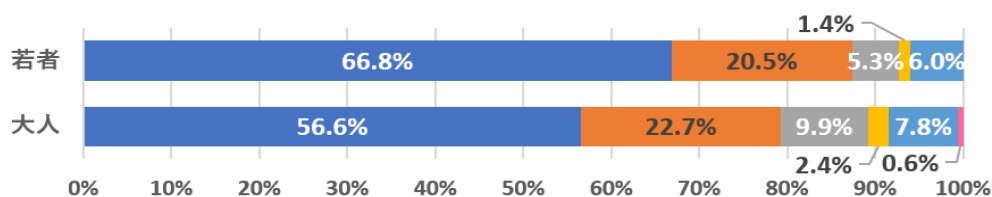
Q2 結婚に関する以下の考え方について思いますか？

■ 賛成 ■ どちらかといえば ■ どちらかといえば ■ 反対 ■ どちらでもない ■ 無回答

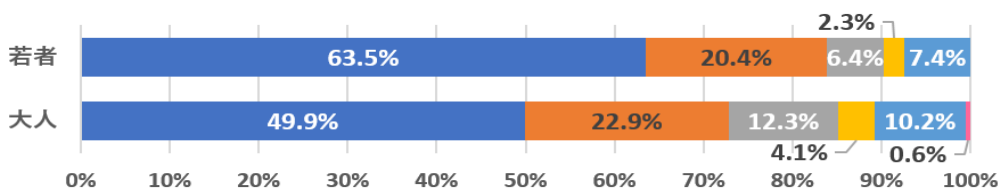
賛成

反対

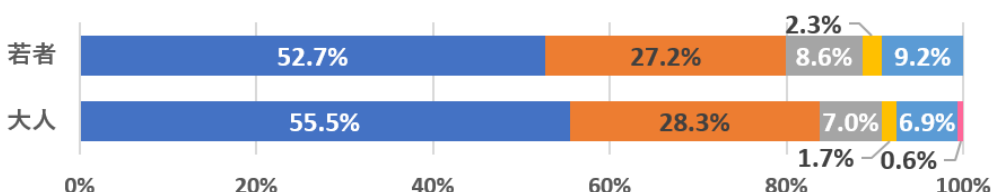
① 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい



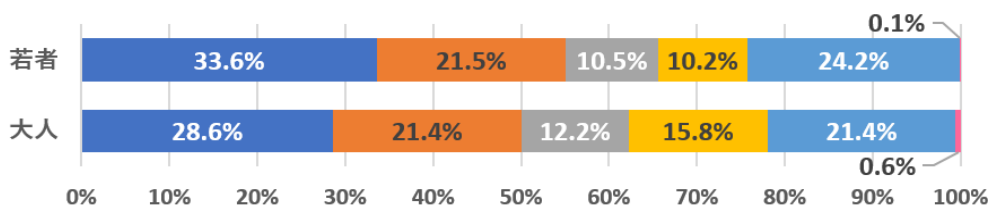
② 結婚しても、子どもをもつことにこだわらなくてもよい



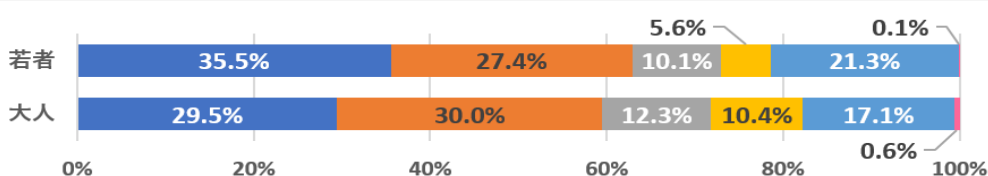
③ 結婚しても、うまくいかなければ離婚してもかまわない



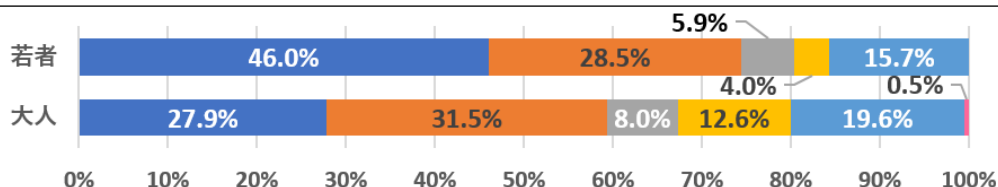
④ 選択的夫婦別姓（別苗字）の制度が法律で認められるとよい



⑤ 事実婚も法律に基づく結婚と同様に理解され、制度等も利用できるとよい

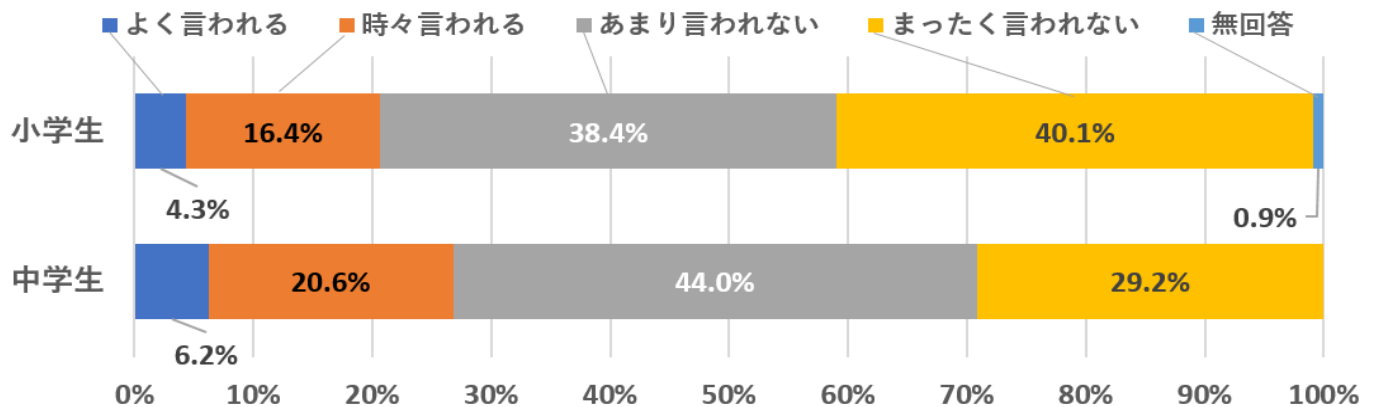


⑥ 同性同士の結婚も法律に基づく結婚と同様に理解され、制度等も利用できるとよい

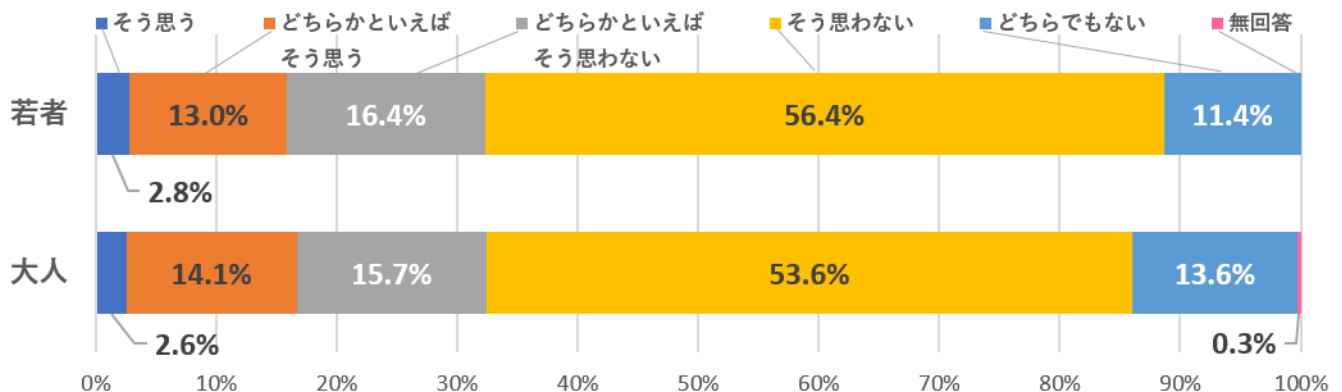


Q2 について、「若者」の方が『賛成』の意見が多くなっていますが、③については「大人」の『賛成』がやや多くなっています。また、⑥では若者と大人の『賛成』の回答差が大きく、世代で理解に差があることが分かりました。

Q3 あなたは、「男だから○○」や「女だから○○」のように だれかに言われたことがありますか。



Q4 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方をどう思いますか。



Q3 では、中学生のほうが『言われる』ことが多くなっています。
Q4 では、回答の割合はほぼ同じですが、『そう思わない』の
割合が若者のほうがやや多くなっています。



***詳しい調査結果は、前橋市ホームページからご覧いただけます→**



ジョブセンター
からのお知らせ

～若者のための合同企業説明会～

若者を対象に合同企業説明会を開催します。
ぐんまの企業が約 17 社参加予定。
お気軽にご参加ください！

日時：11 月 21 日(木) 13 時 00 分～15 時 30 分

会場：ミヤケン元気 21(前橋プラザ元気 21)

1 階にぎわいホール

要事前予約

対象：2027 年卒業予定の方
2028 年以降卒業予定の方
既卒 3 年以内の方
概ね 40 歳前半までの方

申込み：ジョブセンターまえばし
ホームページより →



このニュースレターは、市民ボランティア編集委員と前橋市が協働で作成しました
前橋市 市民部 共生社会推進課 Tel. 027-898-6517

